



お伝えしたいこといっぱい…の気持ちをこめて。

無料配信(郵送)をご希望の方は

0120-103-712

FAX.06-6443-2025

http://www.junzosen.com/

四月のお便り

先日、007が乗っていた英国のアストンマーチンという高級車の展示がタカムラの店でありましたので試乗してみました。



「もうこれだけ生きたのだから、もう死んでもいいわ」ではなく、「もっと生きて、いろんな事にチャレンジしたい。この世で何か役立つことをしたい」という思いを持って生き続けたい。そう簡単には死ねない。その為には健康が一番大事ですね。

ワインの話

— イタリア・ザッカニーニのワイン —

私達が長年輸入しているワインです。葡萄の小枝を瓶に付けている印象的な外見ですが、いろんな賞を取得し、ワイン関連誌にも沢山取り上げられている手頃な値段で美味しいワインの一つです。



このワイナリーに行ってきました。ローマから車でイタリア半島を真横に突き切った真中辺りにあるワイナリーです。この高速道路を小さな車が200km位の高速で、高い岩山の谷間をビュンビュン飛ばして走り抜けていきますと3時間位で到着。景色も、雄大であったり、こじんまりとした日本的な森が見えたりで変化に富んだ車の旅は気持ち良い。

ワインの小枝を自然の木葉繊維で一つ一つ手で結び付けたものを、このように瓶に一本ずつ付けていく、大変な作業をしています。



葡萄をこのステンレスタンクに入れ10日間発酵させます。

それが終わるとこのような大きな木の樽に移して6ヶ月程寝かすのです。その後、ステンレスタンクで12ヶ月、瓶詰後約6ヶ月熟成させた後出荷されます。



簡単に言えばこんな具合にしてワインは作られています。このワインが日本で、1,800円前後で小売されているのです。ワイン作りも大変です。

「猫の絵で有名な長谷川 湊二郎さんは「絵について」の中でこのように言っています。「よい画はその周囲をよい匂いで染める。よい画は絶えずよい匂いを発散する。よい匂い、それは人間の匂いだ。人間の美しい魂の匂い、それが人類の持つ最高の宝である。」



長谷川 湊二郎さん

至言

絵を観るのに、そんなに難しく考える必要はないのかもしれないね。私は線で人の性格などが判りますので、必要な時は線で作品やアートを判断しています。線については別の機会にまた書いてみましょう。



知床はウトロの第二ホテルに泊まる。そこから一番先に行っただけは知床五湖パークです。木組の歩道が作ってあり、そのサイドには熊よけの電気鉄線が張られている。ここから見る知床の原始林の景色は見事です。

今回、最高の見所でした。もう少しここで時間をとるべきだったと残念！ドライブをしていると鹿をしばしば見ることが出来るので、写真を撮る。



知床岬まで往復する船も良かったですよ。海から見る断崖、原始林の景色、よく残されていたものだ嬉しくなりました。努力して残されている！

北海道・道東の旅

4



熊注意の立札も多い！怖いなあ！しかし、どう注意するのだろうか？摩周湖の裏側にある原始林の中を走る#1-15号線も素晴らしい。ホテル、知床自然センター等での食事でも驚いたことは鹿肉がよくてたこと。鹿肉のハンバーグ、鹿肉カレーもありました。牛肉のものはないので、食べている人は見ませんでしたね。「そば、うどん」にも鹿肉です。焼鮭、秋刀魚もよく出ました。料理素材は北海道物に限られているせいか、種類が少なく、同じものをよく食す。地産地消も良いのですが、もう少しお客さんのことも考えて欲しいなあ！

あなたに感動の一冊 本便り



「なぜ、これがアートなの？」 アメリカ・アレナス 淡交社
私はアートというものがよく分からず、絵、彫刻や立体物を見ても「これなんなの？」「これがアートなの！？」と疑問を通り越して、呆然としたり、「何のことか分からんなあ！？」と嘆息し、つぶやきながら美術館を出るのがしばしばです。特にモダンアートは私の理解力ではどうにもならないもので、作者やプロの人の説明を受けても、それは作者がそう思っているだけで、この作品を見る人間にそれが通じるの？としばしば首を傾けています。美術館、展覧会、個展に出かけたり、沢山の本を読み、分かるようになってみたいと努めているのですが、よく分かりませんね。この本は一寸古い本ですが約七〇点の作品を上げて「なぜ、これがアートなの」と語っています。アートに悩める者よ！一読されたら如何？
だからアートがすぐ分かることにはなりません。

